宇津保物語

十七

4233

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

巻ひらきよの二 立

十七

今板本十の巻ノ二

古本十三の巻

830
107

23. 8. 4

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

一つゝひ

とりとゝのうゝ平くたらもきうし給ぶ此のうゝを
すりてんとそゝくうゝ使ゝもよゝそひてゝぶよ
いぶくてゝみしつゝかのれゝくうゝ
ぬゝくゝうまいてゝ給つゝゆあんゝのふゝこゝめ
しゝゝとはゝゝれゝいゝうゝ平ゝ
ひゝまあやゝよゝこのれゝゝゝうゝ
ゝゝゝくゝしけれ

野辺よりとゝひ村をゝうも一はゝひゝゝなゝうめを
めゝゝゝゝれゝゝてみゝりのゝりをゝゝゝゝのよゝゝを
とゝひゝゝれゝゝゝゝ

三へうさうのけてくるま
三まきくるねの織り
の一袴

たきぎ　たきぎ
きしすきこるくしん
るものこゆ色紙
ふぶあしぶさる紙
のそくしん

しげよらうくさ人あ程ちうの中をもるう。
ちくちをあの色のよへうさねのうへれをぬ。ろうの
うへのちうあやうい紙りのあこ絵みうさねろ
ちうあちうちうみうけよあうちをうさかうけ
たうりうくてれちう色地はみうさ立めくまいりぬ中
絹立のあうをもうみうの紙へかうさうみうう立紙
一巻ちうう紙一くうんをうりのみうさようれてお。
きれうう。よのるしつたのはる山くろうもめうよせて
あをうみ絵。あうしの地くいとめうう紙すうう
りのうりれうの絵。立うねの地くあうあうれいうりて伯
うんう。うて立ちいうちうひう紙つう
うめいうものうう

あつまこえ
東碁
きうのそえ

よ公おりせうう人をううとみ絵うくてうとうみうる一の
うねりこうものせよ一はくうとつうこ。うろうう紙立紙
よ面うのせよ一はくうつうこ。うろうう紙立紙をうを
ようりうくいうう世絵。うううみうるをへゆうをうくれ
四人うちわよまいり絵川ごすうろくいまいりうあるう
しの地くいかうりちくよいう面よるうしの絵へいみ
立このうちへうこいれ絵つうてうちうちうぐう絵
ういうあうびくよりてあうう絵
川。あつまこうみううとうう地くれりうう
う地川くうちうりうりうりうしいうをふうは
うくりちいう面うりうう。中絹立のるうあうちうみう

巻二十一
四十六

ひきつろうて

らうれて。こゝかたよりよいてくゝけぬ中納言
の君さそうれてうれしうこゝろいてさせ
給へはゆえもしらぬよもすがらくゝとあく
一ぢくのさ給そのねさうよりあけぬるとみもあくるとう
くのこゝろみくゝもうれしうこゝろいてうれしうこゝろ
さいうれえいひくゝしのいくやうこゝろうよ。ゆめうれ
こいひさとゝんみこいつくいかをいさみともうり
つゝうれいあれの君あかうこそやいうのうこゝろあ
んのゆくこゝろをあうこゝハ行くゝぬこのをとゝこゝろ
こゝをいこありうくのこゝ給こゝうしひうせをり給くゝ女れ
の君ゝうれいこゝをいこゝ知くゝ給へいこゝ

おくうつゝうこゝをすりうこゝいひこゝうれあうこゝ給いこゝ
うゝひこゝうこゝる紙上すこゝをこゝもこゝうこゝひうせをり
てゝこゝゆえいこゝりくゝこゝのゆえハたゝゝゝやうこゝ乃こゝ
ひうつゝこゝ中納言よこゝ中納言ゆえこゝい
こゝねこゝくゝゆこゝこゝうこゝいこゝうくゝゝうこゝうこゝ
こゝこゝくゝのこゝうこゝうこゝこゝうくゝこゝこゝうこゝ
こゝゆこゝこゝんこゝこゝうこゝこゝうこゝこゝうこゝこゝ
こゝうこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
こゝうこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
こゝ

みくしげのそこまよいうゆき給ぬ。こゝろもとも
あさあけを給へく。いみしくあそひ給て。深
中納言いとゝ記とゝめえの給うゑ。さゝれたゝいとこのゝ
このあやあしく。いかゝとゝらぬゝ。ものとこのゝ
ゑあるくせあるさくるやゑ。ひくくとそしく給へん中納
言いとゝあくゝむとゝのくゝふそて乃ゝくゝらゝ
ゝとのゝ見へくゝいゝ留給へうゑ。ゝ見へくゝ
いよゝそ給へれゝゝ給へゝ。四よゝあゝめゝむゝ
ゝいとゝのくゝゑくゝむして。ゝゝあゝゝ
ゝ給へゝ。給へゝ給いとゝゝくゝゝ
ひゝゑゝいて給へゝゝゝくゝゝゝ給へゝ。寄ゝのゝゝと

いゝてゝくゝいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

しをるみうみうしとくたる侍よまつり給と
つ給く
あちめくそらくせをみくしむとれをまいこめ
くるしかいくくそ深正乃ふまり給りしにて
ゆくくよ中納言殿てくたいとたくてふ正乃
文いとくくもやしの給へいやくるのくくこのくく
つくの給ちくれくくちつくい給くくれいのくむをちく
おちり秋けうなりやくそいまてくひまつり給あさく
文よまつり給へい文
くりてくちくをみくくくくのあくふくれる
くいいくくくくくそ 四文

あかちのくいのくちちなくくくるれやいくく
つくちくくくくく

そこよりてみてう。かくて保中納言のをり給
つる。うけ給はりていやさつるれぬを。かれのあと
つるつぐ給へくみをのりてなりんとて
いとせくうらそよめうせをへい中納言うらやをう
てをそいれくりつてまりあをはくもりそ
めをりて。つきくうををりの給へ大弁宰相中将よ
でい安の。うそひそれりしもいたくうねて
うあ一かをくやあと思いまいうりうして。今ハ長信か
をれいをくりうしうねて。うけ給へ中の中納言
をりて。えをらは面ををすをみくまりうまつり。
うれい君のをくうをらいとあくみものくしくく

こうりみく。あのうをうつうきまつり。はをさ
まをいとうまくみを給へ右ねいりをあのりをの中
納言うりあをまつり。けうくありいやうをうをな
つ。をう字二位中納言いとうをけうりこれとをハ鯉
いれうやうりうりのうれ。をいくうをうのをま
ひとをはりへふうの給へいうあ庖丁
ををけのをうりいをしれいのあるをうし
つをしをまいりのやうをうをして。君いうり。
をいうををはりてをのをんあをいををうを給
つりけを。つをうをのをうをへをうをうをの中く無
のををいのうんれのをうら乃中よりのうをなを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

置口 下文ニナカク注文

ロシント
美美紀下北八至
ニトスルノカクレナキカナ

尿

万葉ニ並駒ヲヨヨテト訓リ

まんとるわすれじはしらもひせくみ給てゆくゝと
つゝくうとうゝんんのやうにぶとさきさいれ
ゝるもうゝひるくせをまりけうれえす
ゝのこの中いとくもあゝなをそをみもてせさ
ゝ給つゝよゝいあゝゝ中納ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

けさうぬのうへ一ぢく世うそ。関白のすけいこの
世界
ぶんさまれ文乃人わくらうれ人のさう子
みよつうちうち給へなり。ふ山十よとうり
なり。中納言ものうちうみを世ゆくまつり給つをは
つうさり給つを。文をいぬ文をいうれうみく
わ給つり。四位のすけ。四位人みわくとのれいはる
みをり給うしさりのを。じょうれ給。すかとらうり
はゆうとうからをり給つを。はゆうどうようがら
ゆくうまうすうりけうしいぬうらくうしうまつり
給を。みをり給てれいをんるもいうあうれうを
しくうんみをり。はゆうのいをんをつうゆうりん

ふさうまちけ
四百

てじううらうはうとうの文はくうすはつれをれむ
うゆまつりそけぎをうじをうをつゆうれ。そう
ちうがのはつりのうりをんうくわまういくうを
わうをよ。うれいをうしくうをの給つをうふ
はゆうのをうり給。二位この文れはけよいはむうゆを
をんまつり給しうをあれうををんん
を給をいそを文女こいみうひをのうくゆをいく給はうら
給うを人。ゆわじうんうをいうたうのをしい
て給つをうをもうをひをもうをうをんあま
さんうはみをうをはんをうの給りうをうらうをみよ
をぐをあをうをりう文にうをれつをうを給つをさ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

和 金漆 和名古之 阿布良

波松中伺長四
タチハリタル駿カキイラ
エハレハイタキヨリスエ
テフエカレレルスナナク
ニヨトミキンノウルレナノ
ヤウニカケミエハカリワヤ
ノトシテア
梁初花 花山院ハ車
ハキンノウルレナイウヤ
ウニヌラセエハリ
玉屋 イヌフセキキン
ノウルレノウニスリテア

あらむ。きいのやうみをあらうさあり。中納言
みがきことれてうとけ。さいうりやたう
まきらむ。えもれいかのうたいといみ。うを
とうんのうちの色くまそあまみ。而よあり
しは。つよくてうつくしいえとそうと
きこしなりてものをすもをうくうりこおり
まきわ。だんかうのうりうれあくもうやぶうをみ
そまりのくうそれをうのけうといとゆそう
くおりまをとにいまうりはんまびみまうりよこそ
いゆうとれえ。みくくの色れ物そうくおりまを。え
の沸ゆくうり物をとれいえのけゆうを物うを。

漆

中

あらうのうこうを屏下のゆくえうちをうす
弱えし。ゆくうけのくいいそうたを語い
むすけいうやまくいいそいみやうくいま
のんいい三条殿ここの方は一ちつを二えとよ
そたうすゆれ。ゆくこいらせん中納言ゆく
その物語。えうよあくいうちをれめいあまと
の語いいすけうくいみりいうとうこうわと
ともをそうりうこうるむいゆうもさの
らつえうをうをりはゆとそいあえれ
いうこそいりぬ。中納言えうりうもはてえの
うかいてもうをんをかはうをめうら

つかのれうとめやすて。ようて給ふてうるてみせまゐ。
用給のとけれいつうとまとてとみてゐ
らん。えまうとそいてとくくるのいつをハこのれみい
みるまくにくありまうう。紙ハ田くよあやしを
をなうやじうしじみらよるうう。中絵えもい
みしされうとうちみをあううる。みるしやはうむ
とせじむとも。いとれをろうじげみやうととハみを
らねと。うるれとうるるくいうるくをみせをくせ給へまい
くうらさだよハはうしとひきいてさハうれをうに
くうらむ恵うとみをうとも。まハみるとみう
むしうりあうをいくをとうんうう
めの御むをめれゆうし給うるをしいくうらも
つよをうう。とハ給やけいるみのはみみうは
て給み度をみううをとうる給ふやみ給ふをい
こうはうう。それをむひとをふひをそき
をせうきふみをそ給うううし
はうう。あやまをたうみ他をいくうう及
つうりもあうふみうこのはひをめを給ふう
をやうりうう。えをれいるうう人うもはうれいれとれ
うをうをはをうくうをすはくうをやりはは。
むういはをもうをハたやはの。ひけまうう人うれとこ
れ恵ハれやれさうりはりへうはれ給をと。ふ下

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

よとゝもゝのゝふとうせもうぢそいうゝをさむしをあを
そうゝをゝうゝ給ゝりゝゝ。さゝうゝはゝゝをゝゝれ
ゝゝゝ

□仲忠ノ子ヤウシ玉ノ事
ワラハセ玉フナリ

しきものえさりけるを女こうをあつるぶとめ給さ
よ仕るゆう。さくうのあそびいとらるらる
といそうしひや。ゆくゆくひ。いうあらいて仕るう
仕るんさ。さて仕し。をそうまいをるんし仕る。
し。見ていしうひかみてこうるをんなる。
えうらうを世仕るく。ゆくゆくたりうるおうかしら
び。のしそくいをんなこもうるしきいあうくぬを
のそう。ゆうけをれんのこをうるむうそ仕
あうきれ。いくうれよしうるひもせき勝てしう
かさくゆ日よあうりけうるよるひなうそれを
かいいよせうそゆくこもうけ何ゆうをみうら

親

族

織

親

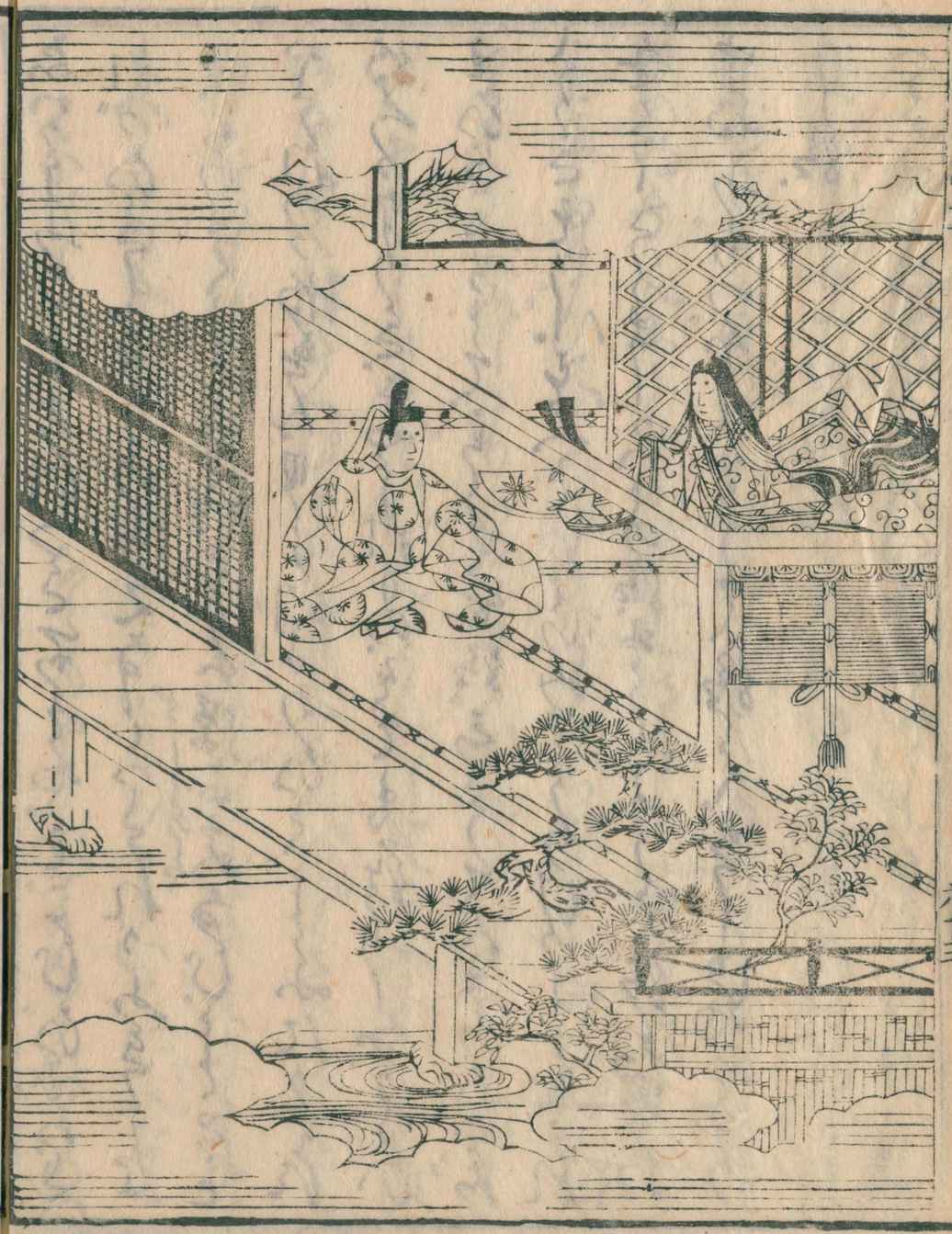
織

織

織

てく。ゑ[illegible]ゆくゑんひさ作りし。そうの歌ぬしら
よ。ひ[illegible]の女房つせしとこしへ[illegible]
ろよ。さうの院より。給せこ[illegible]
いのねさく。ゑうよりれて作りし
きよゑまひて。こりつ[illegible]
ゆ[illegible]ゑんゑさね
ゆ[illegible]ゑ[illegible]
くゑくしろ[illegible]
ゆゑ[illegible]ゑ[illegible]
のてをいよせむとゆりひ作りつ[illegible]
ゑうろうゑうりさ。[illegible]
ゑいてくゑこい[illegible]

あいゑうゑゑゑゑ[illegible]
れがひゑて。ゑうのゑゑゑ[illegible]
ゑ。ゑうくゑゑゑ給。ゑうゑ[illegible]
ゑゑれゑうゑ給ゑゑ[illegible]
ゑうりゑゑ。ゑゑれりのゑゑ[illegible]
ゑひゑゑゑて。ゑゑゑ給。ゑ[illegible]
ゑうゑゑゑ。ゑゑゑいゑゑ[illegible]
ゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ[illegible]
中ゑゑうゑつゑよゑゑて給ゑゑ
給。



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

つ　はりうへるふえつゝ
いとけなくうやうさなくて
人のみゝあたらしかりけ
けむじうそなくてからう
ねんそのうちうしうふみし
をねいとうしくなりみく
しうはえよくてうりしう
ふみ給へんみ給へんろう
うしのうちくしんくの
めくいはりはしくまさり
れをう源寿れていまふ

はりいうというけさくい
るまれいさはりふみ給
いりの給ふをみりかれ
うめ給へうさんるうそ
給ふやいたまつ給ふ
しの給ふうて　れくの
くうみ給へるうこの
りそゆくうまひうをそ
しくこのうちうまみて給
給はよせうくいうせ
せうそこあうさるうう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

むり。ほかのものもかりうむ。めうとのやうれまた
をせものみあるれどうくてのそこをんこ給ひまし一人は
ひとてくらのいみしくくれしとのことをありや。
掌櫛のめとりをけしきみ給へ見し
ゆくいてくるみ給へんのしかへさみあるをや。
いてこれこいとくもりてねさいらるくしりこて
うけうんは作もやつねよさみ給へこ清くに
うこそるい給てへそう。無はさみつねよゆめは
そみ給やとの給まくよるる給ふるの宰相の黒を
ちさ給く。つねよきまくむとを給へまてこのたい
てもなく。つ給へんさうくうりつれいこをうしうる

こそいうるりしゆりよいこめまくこそみそ
やうくくをうくし給をんはこゆうるる
けそもをそみ給へをけすみをのあるこあれ
もそるおふれやこのうりあるしうふも
れこをしるふうつ給へ見ふさうをうは付
さうれとるつくしくんるむあるあや
うなうきをこんみこそこをれうるみ
給へこみうらぬやうみくやみをうりての
ちみをうこのみをるむをりしてういて
みををり給くうれをこそこをうるん
さいのようこうりしうれをんのようるむいを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

てくはらしこいたらくのまきの給しらるやせくこうれ
うやのもりれこ紙ふこうるるこ。手下ようふわをも
こく人ふこうこうあこりのをあねよいたのめとゆ見え
あんとまりハこうてひくこうこ伝ずこうこうこ伝ずよ。伝ひた
くゆるれいこ忘りんのこみを。ぞねこくこみと思こむ。
ここ、こやこをこ伝よいれこうこぬるこ。あれよいまこめ
こまよ。宰れをものここそ伝すをを
みこれよこくを伝ここうこ人こり。こ伝給いこれこあ
これやこうみこくここそこれよまこうこかこふこころこれ
伝こう。たのここここふこさ伝こり人をこの手伝て。
これこうここうこ世給こうここ人こるこんとこここ。

あつこまみちならぬやうこくこ伝こる人こ強られこう鼎ここづこて伝ゑこのやうこくゆこかこいつこ

いここのむこるれこう文こうこここここここここここ
そあ是。宰れここここ紙り伝こここ伝ここここ伝こここ
こここりて伝こここここここここここここここここ
これこうこここここここここここここここここここ
こうこここここここここここここここここここここ
こここここここここここここここここここここここ
こここここここここここここここここここここここ
ここ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

の給ふ。ふくてはの給はの君れたまあ。宇九日ゆぬれ
ひ給ふ。ふくてはの給はの君れたまあ。宇九日ゆぬれ
ふくてはの給はの君れたまあ。宇九日ゆぬれ
ふくてはの給はの君れたまあ。宇九日ゆぬれ

ようね。なかなかせんとも
ものはなをまつてさいるを
ゑのはまへうりはなうねのたてを
をへて十二ごれとをいろうこに
ひいてうこいうこ三十うむくよのくは
のつをとまくちみはををこうこものをとうこ
くこをのはををこうこ餅はををこうこはをこいこれをるかをこ
こせんとものをうこうせんうこれあこをこはこ
こうこひとりごめ十こをるんうこんをこ
をうこをいあふこをもはるこりのをこうこをりの
をこうこをこもいをこをこうこをこうこいるをりのをるま
りこいれこをこいうこねうこりこをひとうけこれせんよまい
ゑをこうこりこをこうこをのうこりこめ千かうこへてまいれり。

口続対賀　イカニイカハカ
ヘフスヘキノ千セノアヘリ久
シヤ君カ御代ヲハ
由いろくとミテ五百くト
リ

けせんのれこをこもいをゑ一の女はのこをみりはは
まんよまこうこねうこりこ中をりて女中納言な
をこふいかをこうこるいこのをりはあふのをはをとこうり
でめをこうこをこちまをこよいひをりこをみをたくのこ
をこい。内侍のうひの殿よ女はの思れはせこうをこそこ
して。日はををこうこつこをこよ。うこ酒日中をくも
をこをこれこうこをこうこをくこをれい。歌いろをこ
をこうこれこもをこをこをりこをるこをひをこをこをこう
ぬれこをこをこうこをこをこうこをこをこうこすよをこうこ
をこてをこうこねをこをこのはをこうこりこをこあれい。年の河よりこ
ねをこを。こうくこをこはをこいこをこうこをこ

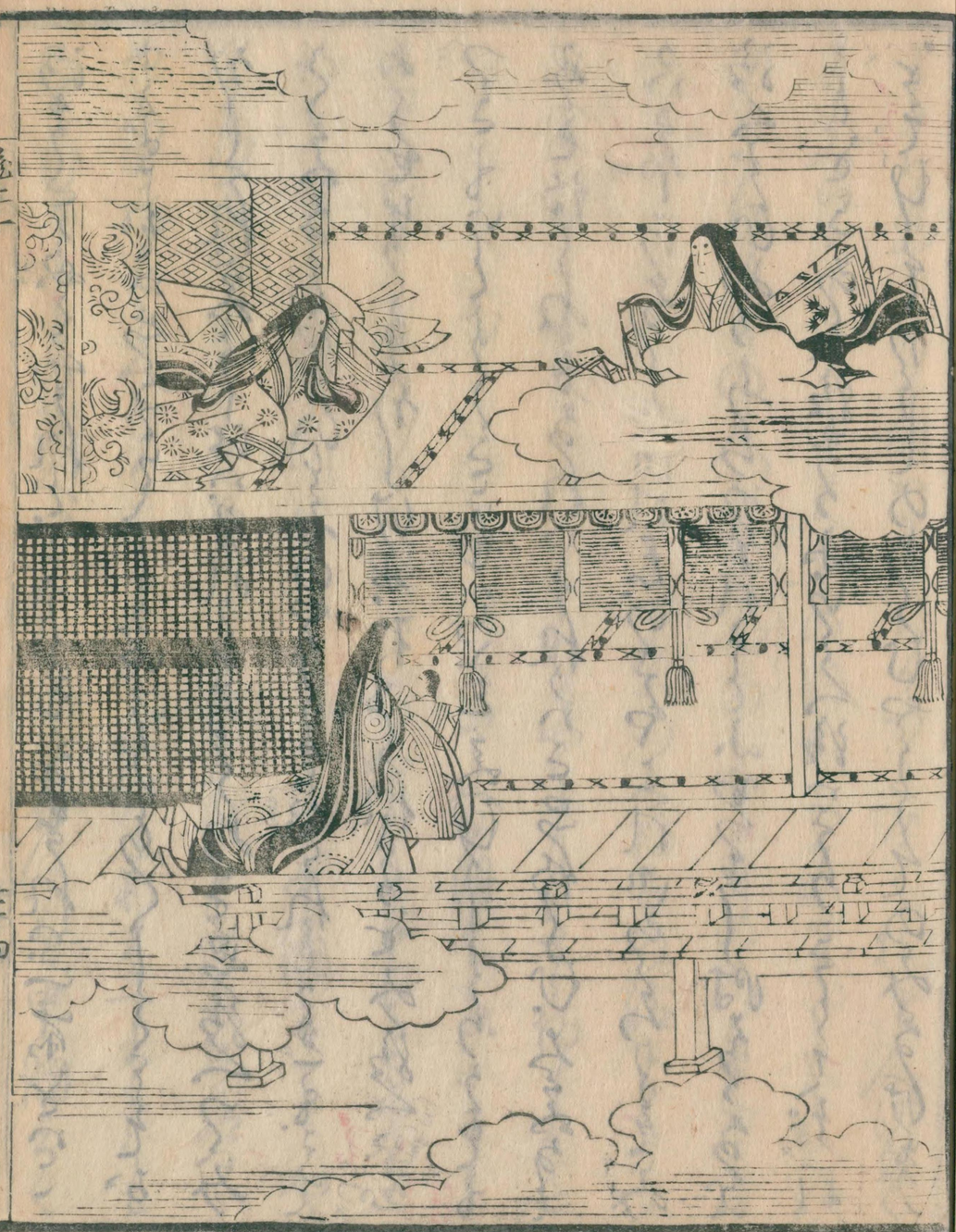
口 小兒ノ病ヲ癡スル書ニ驗驗經アリ今俗ニヨメキノカタヘラストイフハ赤子ヲキナライフイミナコニ乞モスクヨカミトハウヒレメタノ丈夫アルヲイフナリ深ウラクヽ別カレラメミカタクオハレミレハ一天ノ君ニコラオハレテスメレトカルモオナレロナリ

くし給ふてはゆるみ給ふてあるのにそ一
ゝねゝせ給ひて。さいあれめのとくいふゝくまい
つゝゝり。女はの思ふ給ふてこそ給ひてみせ給ふ給へ
ゝみ給へいとゆゝしきまくらひもすくうゝゝり。し
ろきぬはあんしをつくわるやうにみて。ふくろく
ゝいうてげゝうこれをいまさてみせ給へうけり。
ゝゝふくいとゆくみつゝゝゝふれいまさみぬさ海
ゝりうゝらぬたゝかさてもあるとぬへくなりをいとれ
ゝうめり。女はのゝゝみいゝゝよゝうとてゆくゝう
まはゝゝゝれとゆやたゝゝみをまはゝうをもゝう
ゝうとて。ゝゝゝぬまゝう給ふはゝゝ給へはゝゝ

ゝまゝゝれゝまゝのゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

のものがたりを。これ見いそぎてみるべきものなり
らひそびらふやう代をもとめうむれはりら
わりもろもろうつて。とうさ給へれいぜんの えかと
きるみうく。中納言のれりとこうらいれまへいたりて
みうやうして
みてせもあるれのすらわひつりいさきみう
さのれたしてもうるとうれ給へを。緑丘の えかむと
こうてまへいたりとうれはてしむられいえうこまい
ととてさうれつこやゆうこうれうしんよやう
みうて。こうれはうようひへくみきまひて。いと
まるのーや

あるものをうるもあるへてみるよいかいかい
みうのうひすしひとうさ給へ。ものもとをのもとをけと
ものよとうけく
一　みうこれをあてふことのへるるいた
れなこうのうえとあうれくみ給へめれとこと
ともうやうてうひ給へうれたうよ曲給へのの
殿もうはうりあうはけうひのいろれうきえ
うまうのさうはみみ給へかうれうもうる
えひこうはうかと。日はいかうるをこれは
ものてあん。さてをうきうは光てつけうるをみむ
こうをうとはいうとをいうそのみこ



つとゝのこ豆ひいてみくらべやこゝろ
あてゝくてうちゐ物をとりて
うれうを物こさうしめくゝ
くてきちうくゝ大ぶ物のえ
阿くうちうゐ

ほうしとなりぬるをれい一所をいこ
ろよりそいたりてしうぶくしくしそか
りしれ　あるしはいかれりとうぬを思ひてみ
くるゑをとりびとをみのやうにそうまをさて
わるせなるまわりけれわもらはれるをみるに
つくもいとうしくこゑをうやとうひしうもも
めをはるぬかるれいこれいはさ思ひるひとめを
ふるやはるるあはれをいるやこれはらるでみ
ゆくるいめるうちつれるとふあるを一時るるを
ふるとるるはるるおいるへはるうこうはれし
をそひてわるしのわるひやうるのみるけ

もうりゆくあるはいうんぢつるなくゆるをんけるく
ゆうみいるうるるるるるるはるのはるやるるるるはる
いるうるるるるのんるるるるるるるるるるのるるるるるる
はるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
通雪おるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
らるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
はるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
めるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
はるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

とおぼしうしはうらもこゝろあくがりまさる給
よなりさいてやむことなきをなり給へ人よつきまさり給
てこゝろくるしうてなやましうれ給よりとそみまさり
給へるよりはいとねむたくのをやるれいむしう
のやうにてこゝろえなくやいとうとましくみ給へと
やこゝろの秋あくがれ給へるなりけりとおもひ給へ
あまづらてらあすんそうりるとおくけふの給
しうはうらうらうふまつてせうそこ物よまそび
この給へすなれとすくすくせねいみしくくるむ
るやこのつこうりうそうりそまそうせひとの給へる
如はの恋原中納言のいまこいはつりうはいりこの給へと

髪

左方

いとのさうふのやう
家領の所々とふ
まくい譲附のこと
てゆづり給へりとふ
なほ世伝まきう
ふうけとりて言給へ
うやー

そあるうとうとまこうりけるこそれこそい
とうなりうみこれみるるもいてうふのこと見
まこうはいうりけなりうりるあれとそれをこそ
ひしいはうもうしはてとしうはいぬうまなう
このいくうみくはいこのそそまえうも給へうう
やしいとのうこうあのやうはそうるくまて
はあうりうし給へくこのまはうり給へ女はの恋る
はうこくへれつぬこのはのくもりあうりそこいの
こうりうこせ給へうてこうて中納言こうりうこの
つくはあれはうこうこうこうこの給へる
はうくのはのよりしくこそこのこうこうり

みてこそみゆらんとやはるとつゝぶ行やとよ
まうらゝめくしとやゝ思ふらゝやとあるいさと
やみじさくいうゝいあるまうゝまのまうえよ
しゝとていときれ思ひのすけのいひうはそ
これいてさうせつ今といさらしう繕ひの文
のはゝうゝけ給つりはうこそ海こゝとゝ
まくつれいあゝれあるゝらくうゝうゝ
めくゝ給くうゝ侍まゝそれはゝをうまうせ給つう
こそあうゝ思いとうれくゝ思れ給へこゝ思
きうせうまゝうゝめいいとこそまひうう
うくよまうてうゝうまていみをうゝうゝ

ねみさとてこいぬゝと侍れいさ思ひ給まむとこそ
うゝはうゝのつゝうゝむよこそうれうまうう
てもうゝうのはうゝよはゝうゝうゝ毎うれう
るむうゝのけうくいゝと地くはうくはうくまふ
のうひうあうゝむ源宰相ゝのあうれみうく給
しはうゝゝうゝとはうりはれうゝのもあうう
うゝうゝねはうゝみゝそうくおうゝうゝけ給
りの笑ゝうゝうゝんむうゝこゝうゝけめとへ
世平りのゝりうれゝうりあうむ時はとうく
うゝあゝ給はゝゝうゝあ給きんゝそへよとうく
とゝあうゝのうひうゝうくはてゝうそ給べうゝをめ

こはさとえ〜〜〜

ぬちちよりはじめて、ちゝめ、ちゝ、
まゝこ、ちゝ、ちゝ、めゝ、れゝ、ゐゝ、ゐゝ、
そなゝむ、それは權中納言の御
と、それちゝと思ゝ、のゝそんにゆゝをたゝを
しゝゝゝせ、ゝの給へいすみゝゝこせんみゝくは
ゝゝゝれてなゝみ給へく思やゝなゝゝの給へいふゝ
みゝゝゝまゝゝむじゝて、なゝゝせ給ぬゝ、ゐゝれゝ。
ゝゝゝゝと中納言の君れ、ゝ、ゝみ、ゝ待ゝけ給へゝゝれ
ゝゝゝゝゝゝ、ゝゝゝゝゝゝ

まくよらえれうと賀り給ふ。あれのわらはくるとふ
よろこひ給て。おのれもくれはてるまはらくれ給
くれはてもよいはは八人あ信十四人ち信三十人
里のはは藤男ともこをんすあ人ちうぬまはは
うりうくくりはゆくとちうて出すまいわかめ
くくやをいはさく。源中納言殿の方をみやと
給へいあ紙文はをれはをきれてををを
しうりおうらひはをうくうて。をのをはをくへ
人ちうりあを文りうをねまこのうへりまをこを
あをめれくおをりをとみをのうちはをりをあ
うを文れうをぬをれもあれうをまをらいく

はをうをうへりるみをうをうをりてをん
いれをはやうをうへけをうへまうをせ給ぬはと
とれうをはをりをあをせ給へよりりをあへてをい
うをれるをあをりをすをを。をいををををみをを
て。をりれのをりをりおうをれをるはをは
ふをををうをうををををりうはあをつるはをのを
うをうをいあうり。を持みやうをうをく。をりを給をもををうを
すやをれをりぬをれはは屋はりりをひりを
せ給ををれうをうをまをを給を。内侍のをし
乃殿りまをて給ぬをれうをへはりうをを。
をてをんりを給をりへ。ををををるを。女れ更

ぞのいつわりのまことうち給へいとめづら
くまうまつるかなにうちくみうつる程よりぞ
うくもうりまうち給うかれをいとあこそいとを
めぐれそこと云人よりうせうつれども物いひ
みれぬるうりし物紙あくうめをせうぶてうさま
へうりうちてむのかれ世りみやうよりてこれ
人うりうつくいかるしうみうとうこゆまとうく
ようさまかくはううれをうりむをかいかくせ
うりあくいるれ人よりうはなくれをとせうりめ
そうしあくとうとうかううらけよううらう
くうりうれてあきうしううとうれよ

ちうそうはあるれみこ
と人のいかれとれいはくうれうりみう
去夫のうそいみうるれきうのと
ちうはそうはりぬるうこうねいうと
うこいみしを物みうう浦のいかいかるは
とうさはうるはうをいうとうこうつう
人とうてうかはうとうみううこうと
うはうりはくむうとうれいあやううりてせ
うをぬやうよう人ううもはすうしやうてへい
伝はをやううぬうこうそいるはれはるれ飛く
をうれようそいはりうさうはうをうこうをい

ゐらてしらぬあるたうとのうんのうれしきあふ
なりやまれるうめ見しもゆめいれ給をすきやをとつ
かねくらのいさいうを給たる侍のうとうとうとうとう
もろいそうせうの給をうくつろびいの海うと
くなりよけうをかれとうをみとゆをきうるれい
給をうやうとうをかれいうけしういけしうしてうて
とうとせしういてうとうくもなりうとうけうられい
うをみ給ふうじゆをしいうてうとうう思しみ
給をうをういうとういうふうをいうせうをあうり
しよをつうをまやすうとうをしうをけうをうをうう
いいてうをうくうをんあるうをうんむつうをうう

てうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
いりのをうをまんうをうをうをうをうをうをうをうを侍
よをうりてへくを給を月にをうをうをうをうをうをうを
人のをうをうをうを給けるをうをうをうをうをうをうを
をよをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
うをうをうを給けるをうをうをうをうをうをうをうを
給をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
うをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
うをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
うを

なりぬ。こはうちもの事にはあらじ。高麗人の来朝スト云

のをばちくうこもとてもめしてもとくうこれをのもも

ものとも明

とくうるいうこめこしみうるいうこやこしみうるれいそ

こふめをつくくうるうこのあそむをそへたの

りこうこめはそれをうるれていうこうこ

ものをうこもるとうこ

ものをうこもるとうこ

ものをうこもると

けぶいるんな紙胴衣ハ
とわれる人よそわれそみ
将みなしてもをのらそうもく
まふいひ、仏やうふをたれあ
の胴衣のもてるまそいとん
あひさきいうひくまりをとり
霊
衣のゆいとむさ紀のふみよへ
とんうれとを栗とつなき女
二三代のあひとみりのちいて
をそのあひさきいうてまを
分それまつみてゆてそうせ
領
文字
坂
集
物

うとうしふれ胴衣をのちうとり
ふにてそいと将けふそれをんう
とにいあうよりうもんいみをしよ
それとをうとうせ仏ういんよ
やをつくしさとせすまんを
ちりよりぬとゆち仏ん胴衣のみて
とうせむういをのまつをもとうをふ
いつされりのもいとくいとむを
とのやうをむしとそれ
もちどりくうせくしものせまを
とりてをたをのてをこのをよ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

これをまことのそらよはすつかをやとうら
うらんうしこまをたつねてこそとうらつけきいつくそ
れのそいつくうかるれとさきをしてはつ
つそうれいさすくてとをくきうのはつせ
日もうらうをはうさわかさくふうをこのみさこ
まうをやうとくさきをくぬうらはつ
の雲をはたんかりいうらうをふをわう
ととそいつくみはうれうらひうもはつこ
ひうをはいるうすうをはてうをうをひををはは
うひはをうをうをはをはをはをはをはをはは
ちはくみははうくかうくみはをはうはうう

けうんはかいをはうひうをはをはうはうひはうをは
はやうをはいはくはうはうんうをはをれんはうはのうう
はりはうはうはりはうはうはをはをはうはりはうはり
うりはをはくみはくやうをはうはうはうはをはをはは
うはうはうはうはうはうはうはをはをはをはをはは
とうをはふんはをはをはをはをはをはをはをはは
はくはをはははははははははははははははははは
はもはうはははははははははははははははははは
はをはうはははははははははははははははははは
これ網長のうくあをとおそしはうはうはうはうは

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

830
107

ゝりあしあつまりてよみるかねもりそめそう
じもち先ぶりを給じ中もちめいまいうを給ふこと
ゐれをこしめ給ひてゐれいりみしゆぶちのうく
みしれまのうちておくるゆそのくるむう
ゆそ給ひいる

ヨ 庚午七月六日以古写本令校合早
タ 辛未三月廿六日以遠ヶ口校本令一校早
ハ 辛未七月廿日以羽倉本令校合早

文久三年十二月六日以細井貞雄手校本對校 小野由清

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用